

各 位

会 社 名 藤倉コンポジット株式会社
 代表者名 代表取締役社長 森田 健司
 (コード番号5121 東証第1部)
 問合せ先 常務取締役管理本部長 植松 克夫
 (TEL 03-3527-8111)

特別損失の計上、第2四半期累計期間業績予想と実績値との差異
 及び通期業績予想の修正に関するお知らせ

2019年5月14日に公表いたしました2020年3月期第2四半期累計期間(2019年4月1日～2019年9月30日)(以下、当第2四半期)の連結業績予想と本日公表した実績に差異が生じ、併せて特別損失を計上いたしましたのでお知らせいたします。

また、本日開催の取締役会において、最近の業績の動向を踏まえ、2019年5月14日に公表いたしました2020年3月期通期連結業績予想(2019年4月1日～2020年3月31日)を下記の通り修正することを決議いたしましたので併せてお知らせいたします。

記

1. 特別損失の計上

2019年5月24日に開示いたしました「特別調査委員会の設置に関するお知らせ」の通り、当社連結子会社である杭州藤倉橡膠有限公司及び安吉藤倉橡膠有限公司(ともに中国・浙江省)において、不適切な会計処理が行われていた可能性があることが判明したため特別調査委員会を設置いたしました。

その調査費用及び過年度決算訂正のための費用を「特別調査費用等」として231百万円を特別損失に計上いたしました。

2. 当第2四半期連結業績予想値と実績との差異(2019年4月1日～2019年9月30日)

(金額の単位:百万円)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想(A)	17,200	700	700	600	25円64銭
今回発表実績(B)	16,204	800	724	413	17円67銭
増減額(B-A)	△995	100	24	△186	—
増減率(%)	△5.7	14.3	3.5	△31.0	—
(ご参考)前期第2四半期実績(2019年3月期第2四半期)	16,546	743	859	680	29円10銭

差異の理由

「1. 特別損失の計上」にて記載した通り、「特別調査費用等」として231百万円を特別損失に計上したため差異が発生いたしました。

3. 2020年3月期通期連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）の修正について

（金額の単位：百万円）

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社に帰属する当期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想（A）	35,900	1,500	1,400	1,100	47円01銭
今回修正予想（B）	32,600	1,000	900	500	21円37銭
増減額（B－A）	△3,300	△500	△500	△600	—
増減率（％）	△9.1	△33.3	△35.7	△54.5	—
（ご参考）前期実績（2019年3月期）	33,438	917	838	581	24円84銭

修正の理由

連結売上高については、世界的な自動車関連部品の販売低迷を第3四半期以降でカバーしきれないと判断いたしました。また、利益面につきましては、産業用資材セグメントでの半導体関連メーカーや、自動車関連メーカーの減速が長期化すると考えており、第3四半期以降での在庫調整が見込まれると判断したため連結営業利益と連結経常利益の通期業績予想を修正いたしました。なお、親会社に帰属する当期純利益につきましては、前述した内容と併せ「1. 特別損失の計上」にて記載した理由により通期業績予想を修正いたしました。

※上記の予想は、本資料発表時現在において入手可能な情報に基づき作成したものではありませんが、実際の業績は今後の様々な要因により予想値と異なる場合があります。

以上